



## プレス加工コストダウンニュース

材質を問わず、薄く、強く、軽く、板厚も均一に、形状も自由自在に加工できる高度な深絞りの技術を持つ加藤製作所なら、必ず安心・安全な製品づくりのお役に立てます。



### Φ330mm 深さ200mmの深絞りを1工程で実現！



ワーク名称：タンク 加工方法：絞り加工  
業 界：電機業界 材質：ステンレス

こちらの製品は、電気温水機に使用するステンレス製タンクです。錆を考慮した結果、ステンレスという材質を使用し、生産量としては、月産で数千個となっています。これまでお客様では、量産性も考慮し、プレス加工による成形を検討されていましたが、既存のサプライヤーでは、「ここまでの深絞りはできない・・・」「複数工程に加工硬化で割れてしまう・・・」という問題があり、発注先に困っていました。そこで、当社では、対向液圧プレスによる成形を行う事で、深絞り加工による量産を実現しました。当社では、設備力と加工技術により、品質管理体制もばっちりです。深さのある製品や絞り加工が難しい材質でお悩み方は、加藤製作所にご相談ください。

### 3ピースを2ピースへと部品点数削減！



ワーク名称：タンク 加工方法：絞り加工  
業 界：自動車 材質：ステンレス

こちらの製品は、自動車に使用するレギュラータンクの部品です。軽量化を目的にアルミニウムを材料として使用しています。アルミの絞りは非常に難易度が高く、またこれまで3点の部品を各々加工した後に、溶接によりタンク形状に繋ぎ合わせていました。しかし「部品点数を減らし、コストダウンを図りたい」というニーズから、弊社に相談がありました。

当社では、対向液圧プレスという設備を用いることで、アルミ材に対する深絞り加工を行い、30mm超の円筒形品の加工が可能となりました。これにより、20%強コストダウンを実現しています。高さのある円筒部品の加工を検討されている方は、絞りの加藤製作所に相談ください。

### 当社の加工技術・加工領域に関するご紹介



(株)アミノ製の対向液圧プレス

#### 対向液圧プレスによる絞り加工技術①

対向液圧プレスによる絞り加工技術について、ご紹介をいたします。絞り加工とは、金属の薄板から筒状の製品を作る際に使用する技術で、継ぎ目のない部品を製作できる点が特徴として挙げられ、液体などの漏れを防ぐ必要のある製品を製作する際に、重宝される加工方法です。

当社の絞り加工というのは、その中も「深い」絞り加工や、「加工ができない材料」への絞り加工を可能とする技術です。その技術は、当社が2台保有する対向液圧プレスにより実現されます。国内でも50台ほどしか使用されておらず、当社のように、量産工程で使用している企業は数少ないと言われてい

### ～今月の一言～



アマダ社製  
HD NT SERIES

#### 弊社で行った最新の設備導入に関するご紹介！

加藤製作所では、板金工場としてもお客様のご要望にお答えできるように最新設備とシステムの導入を進めています。今回は、8月に新たに導入を行ったハイブリッドバンダーについて、ご紹介をいたします。こちらのバンダー機はネットワーク対応型のエコバンディングマシンとなります。

当社では、タレパン・レーザー・バンディングまでの一貫生産ラインを構築し、リードタイム短縮と、変種変量・多品種小ロットに対応しています。こちらの加工機では、段取り時間の短縮と全行程完結をはじめとした機能を活かしたことで、35%のコスト削減に実現しています。

深絞り技術をご紹介します！カバー・タンクなどの設計・製作でお困りの際には、ご相談ください！

株式会社加藤製作所では、プレス加工技術の中でも絞り加工技術を得意とし、タンク・カバー部品などの量産加工に対応しています。対応可能な材質は、鉄系の材料はもちろん、ステンレス・アルミ・チタン・ハステロイ等、様々です。技術ニュース内でご紹介をした以外にも、これまでに製作してきた事例などを絞り加工.comに随時更新してまいります。量産品の設計される際に、考えて頂きたいプレス加工におけるポイントなども掲載しています。ご不明点や知りたい情報がありましたら、お気軽にご相談ください！

絞り加工、プレス絞り加工、絞り、深絞り

絞り加工.COM

複雑な形状の深絞り加工 加工の難しい材質の深絞り

☎ 0573-65-4175

FAX 0573-65-4177

株式会社加藤製作所

担当/営業部 西尾・兼松 (アシスタント 吉田)